

1/12
(木)

「昔あそび」で世代間交流

まつうら子育て応援隊（世話人 松本恵美）



みんなの子育て広場URACCO（うらっこ）で、昔あそび体験が開催されました。

カルタやけん玉、あやとり、福笑い、もぐら打ちなどの昔あそびが用意されました。子どもたちは初めての遊びに興味津々で、お母さんと一緒に昔あそびに触れ、笑ったり驚いたり、賑やかな時間を過ごしました。

応援隊では、子育て家庭同士の交流や地域間・世代間の交流を深めることを目指しており、今後もシニア世代の会員を中心に、それぞれの特技を生かした催し物を計画される予定です。

1/5
~ 8

小学生が北海道鷹栖町を訪問

ホークス交流事業



市内小学校の児童が鷹栖町を訪問しました。この事業は、気候、風土、生活習慣などが異なる地域での生活体験や交流を通して、郷土愛や広い視野をもつ青少年を育成することを目的に実施されています。

今回は、市内の小学校3校から6年生6人が参加しました。

参加した児童たちは、鷹栖町の皆さんから温かい歓迎を受け、初めて体験する寒さの中、スキーや、雪遊びなどで交流を深めました。

1/22
(日)

文化の祭典を開催

松浦市民文化祭（舞台発表）



市民文化祭は、市民が日頃の文化芸術活動の成果を披露するとともに、文化芸術と身近に触れ合える場として毎年開催されています。

この日は、市内各地域で活躍する詩吟、三味線、コーラス、よさこい、日本舞踊、ダンス、バレエなどの19団体、173人が出演。多くの観覧者が見守るなか、この日のために練習を重ねてきた、美しい声や舞、演奏などを披露し、観覧席からは笑顔と大きな拍手が贈られました。

1/13
~ 16

中学生が長野県木曾町を訪問

生徒学習交流事業



長野県木曾町（旧木曾福島町）を市内中学校の生徒8人が訪問しました。

この事業は、同じ「福島」の名を持つ、同町と本市の生徒が相互に訪問し合い、気候、風土、生活習慣などが異なる地域での生活体験や交流を通して、郷土愛や広い視野をもつ青少年を育成することを目的に実施しています。

期間中は、そば打ち体験やスキー体験などで木曾町の生徒7人と交流を深め、松浦市にはない景色や文化など、感動を味わいました。

1/21
(土)

乗ってみよう。松浦鉄道

松浦鉄道 (MR) を核としたイベント開催



市が進める「アジフライの聖地」の取り組みの一環として、松浦鉄道(MR)「アジフライの聖地 松浦」号を活用したイベントが開催されました。

このイベントは、ガイド付き特別列車運行による沿線観光、絶品アジフライを食べながら地域を巡る今福駅出発「さるく」イベント、松浦駅や駅前ホテルを中心に 16事業者が出

展し、自慢の産品を取り揃えた「松浦マーケット」など、3本立ての企画として市が連携事業者と一帯となって考案した初の試みです。

毎月第3土曜日に伊万里市で開催中の「松浦マーケット」参加事業者を中心にイベント開催を告知し、当日の「松浦マーケット」会場では長蛇の列ができるなど、市内外から 600人の来場者で賑わいました。

1/28
(土)

買い物から始める料理教室



福島地区青少年健全育成会（前田伸二会長）は福島公民館で福島養源小学校5年生を対象にした料理教室を開催しました。

13人が参加し、志水周さん（福島・播磨釜）指導のもと、サラダ巻と豚汁作りに挑戦。

食材は、子どもたち自ら農産物直売所「うるうる福島」に行き野菜などを購入しました。

また、メインのサラダ巻具材の卵焼きを各自で焼いて巻き、個性豊かな形と彩りを演出し、料理の楽しさを味わいました。

1/24
(火)

食べたい給食に一票

福島養源小学校 給食総選挙



選挙の仕組みを学び、学校給食への関心を高めるため、好きな献立に投票する「給食総選挙」が開催されました。

全校児童・職員 138人が給食の献立を政党に見立て投票し、6年生が開票しました。

投票結果は次のとおりです。

【韓国飯党】22票 【中華ランチ党】75票

【和食定食党】41票（投票率96.5%）

当選した中華ランチ党の献立は3月13日の給食で提供される予定です。